

ご挨拶

医学中央雑誌ユーザー会 2009

医中誌の歴史

1903年(明治36年) 創刊号発刊



尼子四郎



- 久保猪之吉(九州帝国大学耳鼻咽喉科)教授の勧めにより、尼子四郎の個人事業として創刊される。
- ドイツの Zentralblatt に倣ったもの。創刊号の収録誌数は64誌、文献数は1,886件。

歴代代表



尼子富士郎

1928 (昭和3) 年就任



村上元孝

1973 (昭和48) 年就任



篠原恒樹

1989 (平成元) 年就任

提供媒体の変遷

1903 医学中央雑誌創刊

1992 CD-ROM 版 「医中誌CD」 提供開始

1995 データベース作成システムのOA化

2000 インターネット版 「医中誌Web」 提供開始

2002 冊子体終刊

2006 CD-ROM 版 サービス終了



医中誌バックナンバーのデジタル化



国立国会図書館のアーカイブ事業の一部として、創刊号以来の医中誌のデジタル化とネット配信を行う予定。

医中誌の現況

➤ 契約総数が 2,000 件を超えた。

<内訳>

- 教育・研究機関 500件（内、医学部を持つ大学は80）
- 病院などの医療機関 1,300件
- その他、企業・学協会・公共図書館など

➤ 多彩な利用層・・・

医師、コ・メディカル、更に は一般の方

医中誌Webの利用

